

# 提 言 書

日 時 令和 7 年 8 月 1 2 日（火） 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 5 0 分まで  
場 所 紀の川市役所 3 階 庁議室  
出席者 伊藤委員、西川委員、恩賀委員、川端委員、中迫委員、中村委員、野村委員、  
庄司委員

## 審議事項

令和 6 年度行財政改革推進計画の進捗状況及び令和 7 年度の重点推進項目について

令和 6 年度行財政改革推進計画の進捗状況及び令和 7 年度の重点推進項目について、行政経営部会、人事部会、施設部会、財政部会及び DX 部会から説明を受け、行財政改革が着実に執行されているかの審議を行いました。

歳入においては、人口減少や社会経済環境の変化に伴い、市税や地方交付税の減収が見込まれ、歳出においては、少子高齢化の影響による扶助費の増加に加え、人件費や物価高騰の影響が重なり、本市の財政運営において今後さらなる慎重な対応が求められる状況にあります。

そのような中、昨年度策定した行財政改革推進計画については、重点的な取組が行われ、着実な成果が得られていると判断できました。また、今年度についても行財政改革大綱に基づき、具体的な取組が計画されていることも確認できました。

つきましては、下記のとおり委員会における提言を記しますので、今後の行財政改革の取組に反映されるようお願いします。

## 記

### ① 市政への市民参加の推進について

タウンミーティング等の「市民の声」を広聴する場が創設されているが、聴収した意見が一方通行にならないよう市民へフィードバックできる仕組みを検討していただきたい。

### ② 職員の仕事に対するやりがいや職場環境への意識について

仕事に対するやりがいや職場環境が良好だと感じる職員を増やすことも重要であるが、ネガティブな意見を減らすような仕組みを検討していただきたい。

### ③ 基金について

災害などの発生に備え、基金を積み立てることは非常に大事なことであるが、必要以上に蓄えず、市民へのサービス還元や企業誘致などに活用していただきたい。

また、積み立てた基金を今後どのように活用していくか、市民に分かる形で示していただきたい。